

2018年1月1日

∩

2018年12月31日

神奈川大学における アジア研究情報

本リストには各研究所より提供されたアジアに関する研究情報（学術交流も含む）及び神奈川大学公式HP「研究者情報」から抽出したものを記載した。

法学部

佐橋 亮（サハシ リョウ）

（論文）

1. “American Power in Japanese Security Strategy,” in Andrew O’Neil and Michael Heazle (eds.), *China’s Rise and Australia–Japan–US Relations Primacy and Leadership in East Asia*, London: Edward Elger, 2018, pp. 143–166.
2. 「米朝首脳会談後の北東アジア：融和ムードと非核化の行方」『東亜』2018年9月号、20–32頁。
（その他）
（翻訳）
1. アーロン・フリードバーグ（佐橋亮・玉置敦彦監訳）『権威主義国家による挑戦』笹川平和財団、2018年。
（コラム・解説寄稿等）
1. 「（経済教室）トランプ政権1年（中）国際主義回帰は期待薄」『日本経済新聞』2018年1月17日。
2. 「米中競争と日本」鹿島平和研究所・外交安全保障研究会、2018年12月。
3. “The depths of Tokyo’s strategic dilemma,” *East Asia Forum* (Canberra: Australian National University Press), 21st of December, 2018.
4. 「アメリカと中国（3）書き換えられたプレイブック」東京財団政策研究所、2018年12月17日。
5. 「中美貿易戦小暫停後の去向」『聯合早報』2019年1月1日。
6. 「米中競争の行方と日本の役割：過度の対決に向かわせない外交努力を」『Nippon.com』2018年12月13日。
7. 「再次启动美朝谈判能否实现无核化？」『聯合早報』2018年10月8日。
8. 「アメリカと中国（2）圧力一辺倒になりつつあるアメリカの対中姿勢」東京財団政策研究所、2018年10月2日。
9. 「悪化する米の対中認識 経済超え「地殻変動」」『徳島新聞』『東奥日報』2018年8月3日。（共同通信配信）
10. 「アメリカと中国（1）悪化するアメリカの対中認識」東京財団政策研究所、2018年8月1日。
11. 「围绕朝鲜的友好氛围仍会持续」『聯合早報』2018年7月20日。
12. 「〈G7サミット〉普遍的価値で連携急務 秩序擁護が日本の利益」『中国新聞』ほか、2018年6月18日。
（共同通信配信）
13. 「米朝首脳会談と融和的ムードへの懸念」『経団連タイムズ』2018年5月17日。
14. 「日米関係に安心してはならない」『RIPS’ EYE』（平和・安全保障研究所）2018年5月7日。
15. 「日本如何应对特朗普主义」『聯合早報』2018年4月27日。
16. 「特朗普亚洲政策是否有改变」『聯合早報』2018年1月4日。

(インタビュー)

1. 「米中争覇：40年で最も特異な状況」『朝日新聞』2018年12月28日。
2. 「Hot Issue：トランプ頼みの共和党 対中貿易戦争は激化必至」『週刊 東洋経済』2018年8月25日号。
3. 「鼎談：「習・プーチンが狙う、新たな国際秩序とは」(阿南友亮氏・小泉悠氏と)『中央公論』2018年7月号、26-37頁。
4. 「耕論：南北 そして米朝会談へ」『朝日新聞』2018年4月28日、15面。

経済学部

呉 春美 (ゴ ハルミ)

(その他)

1. 現地調査

- ・3月20日-26日：中国禅の研究（上海・杭州・蘇州）同行者：鈴木陽一先生／吉川良治先生・山口憲一先生（非文字研究センター）
- ・7月25日-8月9日：フランス禅の研究（フランス） 単独視察ギメ博物館・ヨーロッパ最初の禅寺と禅センター（パリ）&禅道尼苑（ブロア市） 訪問・参禅・ヒアリング調査

2. 研究発表

- ・5月30日 @アジア研究センター禅普及からみた東西異文化：フランスと禅について

山本 博史 (ヤマモト ヒロシ)

(論文)

- ・「タイにおける王党派思想とナショナリズム」永野善子編著『帝国とナショナリズムの言説空間』御茶の水書房2018年3月。

(その他)

- ・2018年6月9日アジア政経学会全国大会自由論題2「東南アジアの経済」報告2：國本康寿先生「タイの経済発展のゆくえ：プーミポン国王が掲げた「足るかを知る経済」を手掛かりに」に対する討論。

経営学部

泉水 英計 (センスイ ヒデカズ)

(論文)

- ・泉水英計 二〇一八「コザにおける住民と米兵の多重性—ロバーソン報告のコメントにかえて」、『歴史と民俗』（平凡社）三四、一六七～一九三頁。
- ・泉水英計 二〇一八「サイバン戦秘史にみる人種差別とナショナリズム」、永野善子（編）『帝国とナショナリズムの言説空間—国際比較と相互連携』、御茶の水書房、三五～六八頁。
- ・泉水英計 二〇一八「五〇年代沖縄のヒストリオグラフィー」、明治大学島嶼文化研究所（編）『国際社会の中の沖縄・奄美』、風土社、三九～五四頁。
- ・泉水英計 二〇一八「米国施政権下琉球の結核制圧事業—BCGをめぐる「同化と異化のはざまで」、坂野徹・塚原東吾（編）『帝国日本の科学思想史』、勁草書房、二九五～三四九頁。

(その他)

- ・米国施政権下琉球の結核制圧事業—同時代的背景からの批判的考察 沖縄文化協会2018年度第3回東京公開研究発表会、2018年9月29日、法政大学。

高城 玲 (タカギ リョウ)

(論文)

- ・高城玲 「分断される国家と声でつながるコミュニティータイにおける政治的対立と地方コミュニティラジオ局」 永野善子編著 『帝国とナショナリズムの言説空間—国際比較と相互連携』 御茶の水書房 2018年、125-152 ページ。
- ・高城玲 「タイにおける水と人とのかかわり—その多様性と多義性をめぐって」 後藤晃・秋山憲治編著 『アジア社会と水—アジア社会が抱える現代の水問題』 文眞堂 2018年、188-210 ページ。

廣田 律子 (ヒロタ リツコ)

(論文)

(単著)

- ・「ミエン・ヤオ族の儀礼における水の機能—中国・ベトナム・タイ広域比較分析の取り組み—」 後藤晃・秋山憲治編著 神奈川大学アジア研究センター叢書4 『アジア社会と水—アジアが抱える現代の水問題』 文眞堂、2018年3月、211~248 ページ

(その他)

(学会発表)

- ・「ヤオ族『盤王大歌』の広域比較—中国・ベトナム・タイ—」 『比較神話学研究組織 GRMC 研究会』 比較神話学研究組織 GRMC、2018年9月1日 於東京都 (筑波大学)
- ・ミエン・ヤオ族の浄化儀礼に関する考察 『日本宗教学会 第77回学術大会』 日本宗教学会、於京都府 (大谷大学)、2018年9月9日

(展示会講演)

- ・「湖南省藍山県過山瑶的還家願儀礼与盤王伝承及其歌唱」 『瑶族文化展—礼儀文献和神画展—』 ヤオ族文化研究所 於上海 (復旦大学)、2018年9月18日

外国語学部

村井 寛志 (ムライ ヒロシ)

(著書)

- ・「香港における入境管理体制の形成過程 (1947~51) —中国・香港間の境界の生成と「広東人」」 (永野善子編 『帝国とナショナリズムの言説空間—国際比較と相互連携—』 御茶の水書房、2018年)
- ・「『良友』画報の海外販売網—「上海版」から「海外版」への連続と断絶—」 (孫安石・菊池敏夫・中村みどり編 『上海モダン—『良友』画報の世界—』 勉誠出版、2018年)

(その他)

- ・「シンポジウム報告・東アジアの社会運動から考える“民主主義の行方”—台湾・香港・韓国・沖縄・日本—」 (『神奈川大学アジア・レビュー』 vol. 05、2018年)
- ・口頭報告〈上海大衆文化和香港及海外华侨:以《良友画报》为中心〉(於“中国・上海城市研究新动向”国际学术研讨会、2018年11月9日、上海社会科学院)

松本 和也 (マツモト カツヤ)

(論文)

- ・「マレー・シンガポール攻略作戦をめぐる報道文—昭和17年文学場一面」(単著) 『文教大学国際学部紀要』 第28巻2号、2018年、85~102 ページ
- ・「第一回大東亜文学者大会の修辞学—大東亜共栄圏言説の亀裂」(単著) 『神奈川大学アジア・レビュー』 第5号、2018年、4~13 ページ
- ・「文学(者)と思想戦—第一回大東亜文学者大会の修辞学・補遺」(単著) 『文教大学国際学部紀要』

第29巻1号、2018年、49～66ページ

- ・「井伏鱒二『花の町』を読み直す——軍政下昭南市における「骨董」」（共著）『世界文学』第128号、2018年、33～41ページ

(単著書)

- ・『日中戦争開戦後の文学場 報告／芸術／戦場』神奈川大学出版会、2018年

大川真由子（オオカワ マユコ）

(その他)

- ・松尾昌樹（編）『オマーンを知るための55章』明石書店（55章のうち12章分およびコラム担当）、2018年

後田多 敦（シイタダ アツシ）

(論文)

- ・「琉球救国運動の意義と概史」（『第3回琉球・沖縄学術問題国際研討会 論文集』（北京大学歴史学系、2018年）240～251頁

(その他)

- ・報告 第3回琉球・沖縄学術問題国際研討会』北京大学、2018年5月13日（上記論文をベースに報告した）

中林 広一（ナカバヤシ ヒロカズ）

(論文)

- ・「川を遡る昆布——近代中国における昆布利用とその背景」『人文学研究所報』59号、2018年、57-71ページ

(その他)

- ・「中国食物史への手引き」『歴史と地理』716号、2018年、38-41ページ

人間科学部

永野 善子（ナガノ ヨシコ）

その他（講演）

1. “Jose Rizal and Japanese Emperor in America’s Shadow,” MVP: Museum Volunteers of the Philippines, Ateneo Law School, Manila, February 14, 2018.
2. “Philippine Historiography and Colonial Discourse,” Peking University, Beijing, March 20, 2018.
3. “Revisiting Renato Constantino as Historian,” Peking University, Beijing, March 21, 2018.
4. “Understanding the Philippine Financial Crisis after World War I in the Wider
5. Setting of Southeast Asian History,” Peking University, Beijing, March 23, 2018.
6. “Understanding the Rise of Duterismo in the Philippines with the Background of its Economic Growth for the Past Ten Years,” The 4th Philippine Studies Conference in Japan (PSCJ), Hiroshima University, November 17, 2018.

工学部

高野倉 雅人（タカノクラ マサト）

(その他)

- ・「ハラール食品サプライチェーン—マレーシアと日本の比較—」（単著）アジア研究センター年報『神

奈川大学アジア・レビュー』 Vol. 5、2018年3月、100～105ページ

- ・「A Study on the Halal Food Supply Chain in Japan from an Inbound Perspective」(共著)『International Multi Conference of Engineers and Computer Scientists (IMECS) 2018』、2018年3月、959～964ページ
- ・「ハラールフードサプライチェーンのコスト要因に関する研究」(共著)『日本経営工学会2018年春季大会』、2018年5月、134～135ページ
- ・「A Study on Information Integration from Consumer Perspectives for Halal Food Supply Chain in Japan」(共著)『INFORMS International Conference 2018』、2018年6月、104ページ
- ・「Supply Chain Integration for Halal Food Integrity in Japan」(共著)『19th Asia Pacific Industrial Engineering and Management Systems Conference (APIEMS2018)』、2018年12月

山家 京子 (ヤマガ キョウコ)

(論文)

- ・山家京子、鄭一止：住民参加による多自然型川づくり—日本・源兵衛川と韓国・水原川を事例として—、『アジア社会と水—アジアが抱える現代の水問題—』、文真堂、2018年3月。

その他 (講演)

- ・横浜・人・まち・パブリックスペース、都市・建築からパブリックスペースへシンポジウム実行委員会、開港資料館 (横浜)、2018年6月。

(研究会報告)

- ・アジア研究センター公開研究会「アジアのまち再生」報告書、神奈川大学、2018年3月。